

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	NICOLANDほいくえん東村山
施設所在地	東京都東村山市美住町1-20-1
法人名	(株)モアスマイルプロジェクト

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜

<テーマの設定理由>

NICOLANDほいくえん東村山では開園当初から自然や野菜に触れる活動を多く取り入れてきました。

野菜を「育てる」「観察する」「収穫する」「調理する」「食べる」という積み重ねの探求活動を行うことにより、子どもたちの世界がさらに広がり、生活と遊びの中で意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、子どもたちの心身を豊かにし食育の推進へとつながる事を期待しこのテーマを設定しました。

実際に自分の手で触れたり、目で見たりしながら。絵本や写真でしか見たことがなかったものの感触を確かめたり、においを嗅いだりすることで子どもたちの五感を刺激する体験活動を行いたいと考えています。

体験活動を通して自然の姿や仕組みに触れる機会を多く持ち、野菜やその周りに生きるや動植物を身近に感じることで、親しみを感じたり、大切にしようという気持ちが芽生えます。収穫物を調理員や保育者や保護者と一緒に調理することで「食」に対する意識が高まり、野菜の名前を覚えたり、苦手な食材でも「食べてみたい」という気持ちも芽生えます。小さな畑での大きな収穫を得たいと考えています。

自然から学ぶことは多く、さまざまな体験をすることで自然や植物、生物などに興味を持つきっかけが生まれることもあると思います。「もっと知りたい」という好奇心や意欲を持つことで、図鑑を調べたり、自分で試したり、と主体的な行動に繋がっていくと考えています。

2. 活動スケジュール

5月 活動の話し合い・苗購入・苗植え・収穫・試食
6月 草取り・観察・野菜スタンプ製作・収穫・試食・調理
7月 草取り・水やり・観察・収穫・調理・試食・染め物体験
8月 水やり・観察
9月 草取り・水やり・観察・収穫・染め物体験・冬の野菜栽培の話し合い
11月 さつまいもほり・観察・収穫・収穫祭・調理
12・1月 観察・収穫・調理

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・年間を通して畑の賃貸契約やさつまいも掘りの設定
- ・スコップ、手袋等畑で使用する道具
- ・包丁、卓上コンロ等調理体験で使用する道具
- ・プランター、土等保育園内での野菜栽培に使用する物品
- ・野菜関連の絵本や図鑑
- ・使い捨て食器・鍋等収穫祭を行うための道具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・畑の野際収穫を通し、野菜がどのように育っていくのかを観察、興味を持つ
- ・収穫した野菜を収穫祭でかんたんな調理をし、親子と一緒に食べる食育の経験
- ・プランターで育てた、ナス・ピーマンの水やり、観察、収穫をする。
- ・野菜を使って染め物を行う
- ・絵本や図鑑、カードを使って遊ぶ中で、野菜への関心を深める。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・野菜を収穫すると「見て!こんなに大きい大根がとれたよ」などと、嬉しそうにみんなで話しながら見せあっていた。また「どんなお料理に美味しいかな?」「大根って葉っぱも食べられるんだよ」と食につながる語り合いも多く見られ、その後の調理活動にもつながっていった。
- ・にんじんの素にあおむしがいるのを発見すると「あおむしさんもお野菜好きなのかな?食べるかな?」「あおむしさん、にんじんの葉っぱ好きかもね」保育士に「図鑑で何の虫か調べてみよう」との提案により、野菜と虫との探求にも多く取り組んだ。
- ・収穫祭では畑で収穫した野菜を使って、親子で調理を行い食べる経験をした。「上手に切れたよ。畑の野菜は大根とニンジンだよ」と喜んでいた。「みんなの野菜で美味しいごはんが出来たね、スーパーで買う野菜よりすごく美味しいんだよ」と保護者に話している子どももいた。
- ・野菜を使用した染物体験では、「何色になるのかな?、青?むらさきて」とワクワクしながら作業を行い「次はどの野菜で染めようか?」「ピンクにしたいときは何の野菜を使えばいいのかな?」「スーパーにピンクの野菜見つけにいてみよう」と次に想像を広げ考える様子が多く見られた。



(活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・今日のすくわくプログラムで、野菜の栽培、収穫について興味を持って取り組むことが出来た。給食に入っている野菜が苦手だった子どもも、自分から進んで食べてみようとする気持ちを持つことが出来た。また、野澤に対して愛着がわいたようで、プランターで育ったナスやピーマンに咲いた花を「可愛いお花が咲いたね」とほほえんで見ている表情が、とても優しかった。
- ・育てた野菜を使って染め物体験をした時は、自分でもんで感触を楽しんだり、匂いを嗅いだりしながら、五感を使う良い経験をすることが出来て子ども達も満足そうだった。2歳児には難しい活動かと思っていたが、子どもから「やってみたい」と言い出した活動だったせいか、どの子どもとても集中して取り組んでいたのに驚かされた。
- ・収穫祭ではにんじんや大根を包丁で切ったり、スイートポテトを作ったりと難しめの調理体験もすることが出来た。親子での参加だったので、保護者と一緒に野菜の話をしたり、掲示したすくわくの活動の様子を見たりして、更に野菜に関心を持ち探求を深めることができたと思う。
- ・今まで野菜に対して関心がなかった子どもが、すくわくプログラムで探求したことにより、観察し自分で世話をすることの大切さや楽しさを学んだと思う。野菜に対する興味も深くなり、自分たちで調べたり実験したりしている様子を見て、子どもたちの成長を感じた。また、野菜を意欲的に食べてみようとする子どもが多くなり、食育へのつながりも感じる事ができた。